

「街開き 5 周年」を機にベイタウンフォーラム開催

6 月 4 日、自治会連合会ベイタウンまつり 2000 実行委員会の主催で「ベイタウンフォーラム」が開催されました。このイベントは街開きから 5 年が経過したのをきっかけに、これまでを振り返りつつ、これからの街づくりを住民主体で考えていこう、との趣旨で開かれたものです。朝 10 時スタートのウォーキング企画を皮切りに、街づくり全般を取り上げる第一部、より踏み込んだテーマを扱う第二部、そして最後の懇親会まで、終日にわたる催しでしたが、好天にも恵まれ、参加者は延べ 150 人ほどにまで達した模様です。フォーラムの内容を、ベイタウンニュースの総力をあげて以下 2 面にわたってお伝えします。

ベイタウンフォーラムを終えて

実行委員会企画担当
グランパティオス公園東の街 村岡 英裕さん

おかげさまでベイタウン・フォーラムが充実した話し合いのうちで終了しました。街びらき 5 周年を記念して 1 万人となった街のこれからを考えようという呼びかけでした。

当日はずいぶんと晴れ渡りましたね。こんないい天気の日曜日にフォーラムなんかに参加してくれるんだろうかと疑っていた私ですが、開始 10 分前にはもう GPE 会場は一杯で、急遽、外にも椅子を出す騒ぎ。結局、分科会を合わせると、ベイタウン内外から 150 人以上の方々が参加されたことになります。ネットの書き込みにあったように、まさに「過去 5 年の住民の草の根活動の総決算」だったと思います。担当者の皆さん、準備に奔走してくださった皆さん、参加してくださった皆さんに心からお礼を申しあげます。

祭りに「祭りの後の寂しさ」はつきものですが、この性質上、フォーラムは次の動きを待っています。街には批評がつきものです。街角には音楽と話し合いが似合いますよね。集まって暮らすプラスと自由に暮らすプラス、この綱引きにどんな決着をつけるべきなのか。いくつもの研究会がフォーラムをきっかけに生まれるなら、これ以上の喜びはありません。



ウォーキング企画

外部からの参加者を合わせて参加人数は 124 人。3 グループ（大竹組、石橋組、辻組）に分かれてベイタウン内を歩きました。本誌記者は 13 番街の大竹さん率いるグループに同行しました。【佐藤】

打瀬二丁目公園

公園を出てすぐに、ベイタウンの特徴である沿道型の街並みを確認。道路に沿って街並みが揃っている！ 高層住宅は圧迫感を与えないよう、階数や色を変えたり出っ張りを作ったりといった工夫がされているんだとか。なるほど。

お疲れさまでした。こんな風に注意して歩いてみると知らなかった街が見えてきます。5 年前は「箱」だったベイタウンが「街」に育っているのが実感できた貴重な体験でした。

赤玉・青玉公園

ここから北を見ると、中層・高層・超高層住宅がぐるりと一望でき、ダイナミックな景観が楽しめる。この公園はお役所がつけた正式名称よりも、「赤玉・青玉公園」という住民がつけた愛称のほうがずっといい。

グランパティオス公園東の街の荻生さんご夫妻
「他の番街を知りたいと思って参加しました。説明してもらって、それぞれの番街のコンセプトを知ることができました。また、まちづくりの全体像もわかって勉強になりました。11 番街の中庭は印象に残りました」

グランパティオス公園東の街の中庭

よその中庭が見られる絶好のチャンスだ。集会室のウッドデッキの先に広がる庭は、池ありローズガーデンありテラスあり、まるでガーデニング雑誌から抜け出したよう。咲き始めたバラを見ながら散策する人の姿もチラホラ。



マリンデッキ

住民が名付け親のマリンデッキを見学。ちなみに公園側とベイタウン側で手すりのデザインが違って知ってた？ 道の向こうとこっでで管轄が違うという理由で統一したデザインにできなかったそうだ（この後のフォーラム第一部で聞いたハナシ）。富士山が見える最新スポット。

お隣の検見川浜から来た新井さん

「ベイタウンの知人に誘われて参加。最初は街並みが画一的でないと感じましたが、所々に統一感を持たせているという説明が興味深かった。また、住民が受け身ではなく、自分たちが住むまちづくりに積極的な姿勢を感じました」

美浜プロムナード

回廊に沿って商店が並ぶ賑わいの空間。歩道と道路の段差をなくし、店舗を利用する人が駐車しやすくなっている。四つ角には各事業者が相談してデザインに統一感をもたせる工夫も見られた（この後行った 12 番街と 13 番街の四つ角は曲線を取り入れたデザインになっていた）。

打瀬小学校と児童公園

扉のない打瀬小学校はハード面だけでなく、ソフト面もオープンな珍しい学校。ここでは子供の急速な増加で出現したプレハブ校舎（懐かしい!?）と隣接する公園を見る。公園の一面では、住民によるローズガーデン計画が進行中。小学校の農園には夏野菜が！

ミラリオ

中層街区を囲む高層街区の一面をなすミラリオ。直線道路が多いベイタウンの中でも珍しいカーブした道路がやわらかい雰囲気をかもし出している。自慢の集会室が目玉を引く。

かるがも館

途中、コミュニティコアの建設予定地を見学。ここでも住民がゲリラ的に植えたゼラニウムが無味乾燥な駐車場のフェンスに潤いを与えていた。ベイタウンの「花咲かパワー」はすごい。土壁に土間という農家風の造りのかるがも館の中の模型で、ベイタウンの全体像を改めて確認する。街が広がっていく様子がわかる。

11 番街中庭

黒い石を敷き詰めた長方形の池が水をたたえて涼しげ。これまでにない斬新なデザインの中庭に、シャッターを切る参加者も多かった。

8 番街中庭

8 番街の住民のご厚意で冷たいお茶をいただく（美味しかった！）。「ロ」の字型に建てられた中層街区の典型的な中庭は緑が美しく、外部の暑さや音から遮断された空間になっていた。

フォーラム第一部

午後は一転、会場を屋内（公園東の街コミュニティクラブ）に移して、まずは打瀬中学校の生徒 3 人からベイタウンを独自の視点で調査した結果の報告を受けました。【茂木】

100 人前後もの参加者を前に報告に立ったのは、打瀬中 2 年の千葉くん、富川さん、金子さんの 3 人。昨年、美術科を担当する渡部先生（1 番街在住）の授業で取り組んだ成果を、コンピューター画面上で重ね合わせたベイタウンの地図を使って発表しました。テーマは「ベイタウンにたまる」と「ベイタウン センス + Time + ライフ」。乳幼児・若者・高齢者や虫やゴミはどこにたまるのか、日当たりや風通しは街なかのどこがよくてどこが悪いのか、中庭はどこのものが人気があるのかなど、新鮮な切り口でベイタウンの現況を明らかにしました。

ユニークな現況報告に続いては、ベイタウンの計画者の一人、都市プランナーの荻原敬さんの登場です。専門家として街づくりを進めてきた立場から、計画段階の考え方と、いまの時点での評価・感想を披露しました。

「団地でなく街をつくらう」と考えた。街では自由に交流することが大事。「街として機能の複合を考えるとおいや音など矛盾も生じるが、それを解いて住みこなしていく必要がある」といった点を強調したうえで、「時間の経過」への対応という視点もこれからは欠かせないと指摘しました。住民の立場からは、ベイタウンニュース編集局の松村さん（10 番街在住）が、「子供たちが住み続けていきたいと思えるような魅力をどうつくっていくか」「路上駐車やふとん干しの問題など、沿道型住宅都市の文化を創る意識が必要」など、これからの街づくりを考えていくうえで論点となりそうなことを提起。会場からは、賛同・反駁、どちらの声もあがりませんでした。専門家と手を携えて、これからも住み続けていきたいと思えるような街をつくり上げていくことの必要性は再確認できたのではないのでしょうか。

フォーラム第二部「分科会」報告

午後3時から、公園東の街・西の街、セントラルパークウエスト「キッチンハウス」「アトリエハウス」と、四つの会場に分かれて、「教育」「暮らし」「公園」「イベント」の4テーマで分科会が開かれました。会場ごとのばらつきはありますが、総勢100人以上が参加し活発な意見交換を繰り広げました。

分科会Ⅰ

「ベイトウンのしつけ・世界のしつけ」

打瀬小学校前校長・溜昭代さんの司会で、ベイトウン在住者を中心としたパネリストから日本と海外の「しつけ」について意見を聞きながら、子供たちの「しつけ」の可能性を考えることがテーマでした。パネリストからは、「もっと子供に関心を持って親子の絆を大切にしてほしい」（12番街在住、ダイアン長友さん：お茶の水女子大助教授）、「人やものに感謝する気持ちを子供だけでなく親も持ってほしい」（鈴木哲也さん：打瀬サッカークラブ代表）、「オーストラリアに留学してホームステイしていた先のお母さんがとても言葉遣いを大事にしていたのが印象に残っている」（公園東の街在住、サウランファン村岡さん：神田外語大助教授）、「時間とお金と約束を重視している。自己主張だけでなく相手の話も良く聞く必要がある」（7番街在住、白石真澄さん：ニッセイ基礎研究所主任研究員）、「台湾では子供の独立心を育てるためストレートな愛の感情を子供に表現しない」（5番街在住、鍾明建さん：エイサコンピュータ日本法人社長）と、それぞれの立場で興味深い体験や考え方が話されました。

「しつけ」の問題に絡めながら、分科会は溜さんの個性豊かな進行で進められ、会場からも発言を引き出していました。年代を超えた交流がある街の影響からでしょうか、子供への教育や「しつけ」に強いこだわりを持っている人が多いように感じました。最後に、溜さんの発言の中で印象に残ったものを紹介します。――「二つしかって三つほめ、五つ教えてよき人にせよ」「父親は社会の善悪をしっかり教えてほしい」「子育て支援ネットワークは必要」「よく、時のけじめ、場のけじめ、善悪のけじめを子供に教えていた」。

【金】

分科会Ⅱ

「タウンライフから私たちの街を語ろう！」

会場に入ると、いきなり小学校の授業のような光景に出くわした。「はい、皆さん。ここにベイトウンにある公共施設を書いたカードがあります。これを、このパネルに貼ってみて下さい。」どれ、とパネルを見ると、ベイトウンを中心に、『商業施設』『文化施設』『生活利便施設』『医療施設』『福祉施設』の分類が書いてある。「うーん、本屋さんは商業施設かな、文化施設かな。」「そうか、ベイトウンには歯医者さんが3つもあるのか。」と参加者たちは次々とカードをパネルに貼り付けていく。さあ、最後の1枚を貼り終わった、とパネルを見ると、なんと、『商業施設』は30近くあるのに、『生活利便施設』は4つ、『福祉施設』に至っては、ひとつもない！30名ほどの参加者を前にして、「皆さん、これを見て、ベイトウンが果たして正常な街の機能を有していると言えるでしょうか？」と主催者らしき女性が問いかける。うーん、うまい。うますぎる導入だ。

こうして分科会は始まりました。美浜区の老人福祉施設の現状（千葉6区中最下位）や、ベイトウンの住民構成の歪み（乳幼児の多さ、高校・大学生の少なさ、シニア世代の急増）が客観的なデータで示されていきます。「ベイトウンは完成されすぎた街ゆえの悩みを抱えている。現時点でのシニアの悩みだけでなく、30年、50年後の今の子供たちの暮らしを考えたい」と主催者は語ります。「子育てのベテランが集まって子供たちのめんどろを見るなど、知恵を出し合って住みやすくできないか？」「『街創り』から『街育て』への発想の転換が必要」と参加者が応える形で分科会は熱っぽく進みました。

「私たち二人で、1年以上前から疑問を持ち、いろいろ調べてきましたが、これから先、この小さなつづやきを広げていくにはどうしたら良いんだろう？」と悩んでいました。その意味でも、このフォーラムが良い機会となりました。」と主催者の一人、須田さんは語ってくれました。

【板東】

分科会Ⅲ

「ベイトウン・大人の遊び場、子供の遊び場を語ろう」

自己紹介の後、午前中のウォーキングを思い出すため大きなベイトウンマップに司会者の辻さん（8番街在住）が当日撮影した写真を並べだしました。並べながら辻さんは「写真を見て、どこの公園が分かる人は、写真を置いてみましょう」「みなさんのお気に入りの場所はどこですか？」「公園の名前についてどう思いますか？」と、参加者が普段なにげなく感じている公園への意見を引き出していきました。

ゆえに、その後の一言感想アンケートでは、「いろんな世代が集まる公園がほしい」「広さはあるが起伏のある公園がなく、隠れたり登ったりできる所が少ない」「児童公園だけでなく、個性のある公園がほしい」「雑木林がなく、人工的な印象が強い」「木陰が少ない。子供を遊ばせて休む木陰がほしい。高齢者が休めないのでは？」「雨水利用の井戸のある中庭が15番街にあったが、貯水タンクのある公園はないようだ（最近、神戸の公園には貯水タンクが作られた）」「大きなスポーツ公園がほしい。テニスコートがほしい」「交通公園は暗い。森林のようになっていて手入れがしていない。禁止事項の看板が多い」「バーベキューできる所がほしい」「雨や海からの強風、季節の移り変わりに公園が耐えられるか」「中学校の横はベンチがあるのに、誰もいなくて寂しい公園だ」「種まき後の花壇を、子供が踏んだりバラを棒で叩いたりする」「公園の名前を、もっと親しみのある名前にしたい」など、たくさんの意見・感想がでました（感想はベイトウンマップに貼られて「かるがも館」に展示されています。ぜひ、ご覧ください！）。そして、それらの意見を踏まえながら“住人にとって使いやすい公園にするためには何が必要か”を話し合いました。

【浜田】

分科会Ⅳ

「幕張に国際的な音楽イベントを」

ベイトウンまつりにもっと住民が一体となって盛り上がるような企画ができないかというところから始まり、「コンサートをやりませんか」と呼びかけた。これにに応じてなんと30組の応募があり、予想以上の手応えを感じる。普段は地域活動とは縁のない高校生や大学生を惹きつけたことに、「音楽」の持つ引力を感じた。どうせやるならカッコよくやりたい！アマチュアの音楽家に発表の場を与えると同時に、ベイトウンに住むプロのアーティストを巻き込めないか。GLAYのコンサートですっかりメジャーとなった「幕張」の名前を定着させ、国際的にも注目される街として幕張新都心とベイトウン、海や公園を有機的に結びつけた活動ができないか。ゆくゆくは国際的なアーティストを輩出できないか……。

17番街の柴崎さんら発起人たちのこうした熱い思いがまず語られ、次のようなプランが提示されました。「プランA＝日本中からプロ、アマ、ジャンルを問わない音楽家たちを一堂に集め、幕張メッセの国際イベントホールをメイン会場に、コミュニティコア、公園を使って、音楽祭を繰り広げる」「プランB＝イギリスのエジンバラ国際演劇祭を手本に、世界中から演劇やパフォーマンスの芸人が集まるイベントを行う。ベイトウンはパフォーマンスの場となると同時に、自費で参加する芸人のために宿を提供する」「プランC＝インターネットを使って、世界各国からエントリーしたミュージシャンのコンテストを行い、この模様を幕張に置かれたサーバーから世界に配信する」。「国際的なイベント」というスケールの大きさにやや戸惑いを感じ気味だった参加者も、発起人の熱意を感じ、次第にイメージがふくらんでいく様子が感じられました。

【佐藤】

ベイタウン事業の変更にかかわる説明会

6月11日(日)に行われた企業庁の「幕張新都心住宅地(ベイタウン)事業の変更にかかわる説明会」取材しました。この日の議事録は、各管理組合を通じて全戸配布されるとの約束を得られたので、詳しくはそれをお読みください。なお、ベイタウンネット (<http://www.baytown-net.com/>) のバーチャル会議室には説明会の概要が速報されています。

8番街で行われた説明会には、企業庁側からは地域整備部幕張新都心建設課住宅地区建設室・大橋朝馬室長ら10人、住民側からは約40人が参加しました。一般住民の関心はいまひとつというところ。以下は主な質疑応答です。住「事業年度を平成22年度まで伸ばすということだが、その先はどうなるのか？」企「事業後は土地の所有者として残るが、事業・施設は千葉市に移管する予定／住「駐車場の規模、完成時期は？」企「11番街横と児童公園横に平置きの駐車場を考えている。台数は2カ所で170台程度を予定している。景観に配慮したものにしたいので、設計のため

の予算を確保する段階にある。なるべく早く整備したいが、予算がまだ確保されていない」。／住「セントラルパークの駐車場ではワンボックスタイプなどの大型車は4、5台しか置けないと聞いたが」企「ガソリンスタンド横の駐車場を将来的には、クリーンセンターの隣に移して立体駐車場の建設を三井不動産と協議しているところだ。また、これからつくるものについては車庫証明がとれる公共駐車場にしていきたい」。／住「保育園が13年度にできると聞いてきたがどうなのか」企「厳しい財政状況において、予算化されていない。最優先していきたい」。／住「なぜ、保育所のような基本的な施設が予算化できなかったのか？」企「都市基盤整備をしてから、施設にとりかかる」。／住「クリーンセンター横に予定されている変電所について電磁波の影響は？高圧電線は？」企「電磁波は敷地境界ではドライヤーから出る電磁波程度になる。高圧電線は地中の共同溝に埋設される予定」。／住「変電所の計画は不動産業者が入居希望

者に知らせているか？」企「重要事項説明の中に入っていることは確認している。しかし、説明されているかは確認していない」。／住「事業計画の変更項目にはないが、ごみの固形燃料化施設をガソリンスタンド横につくるという話があったのでは？」企「事業主体である千葉市のほうで事業者等も未定なため、つくるかどうかかわからない」。／住「インターナショナルスクール用地に複合住宅の計画があるが、住宅は建たないはずでは？」企「保育所と高齢者のための施設をつくるつもりだ。隣接する番街との間にはコミュニティベルト(高い建物を建てない地域)を作るので、周囲の住宅に影響はないはずだ」。／住「この説明

会の準備資料では、事業への住民参加という記述があったはずだが」企「確かに昔の文章にはあった。しかし、1から10まで住民参加というのは無理」。／住「それでは、住民の声をどう吸い上げていくつもりか、具体的な方法を示してほしい」企「自治会連合会とじっくり時間をかけて詰めていきたい」。／住「住民と懇談する場を継続的定期的にもつべき。話し合う機会をつくってほしい」企「検討していく」



「今後の信頼関係の構築には情報の共有化を」と説明会で熱弁を振るう住民

このほか、住民側から「正式に告示しないで説明会を行うのはおかしい」との指摘がありました。実際、今回の説明会の通知は、全戸配布のベイタウンニュースと2番街の連合会の掲示板、ベイタウンネットでのみ行われ、各番街に掲示するあるいは企業庁自ら全戸に配布することは行われませんでした。企業庁からは、事業計画変更を知らせるチラシの各戸配布(5/11)、連合会と相談した上での説明会の開催及びベイタウンニュースでの通知…「十分なことはやった」との説明がありました。

しかし、遅れて参加した住民からも「こんな説明会が行われていることを全く知らなかった、もう一度説明会をやるべきだ!」との意見があり、会場からも「もう一度やってほしい」と声があがりました。結局、この問題については約束が得られず、「住民の皆さんの意見も聞けて、大変有意義だった。これから、本日頂いた意見・宿題を検討させて頂く」という締めくくりの言葉で閉会となりました。

【佐藤】

連合会新役員決まる

去る6月11日(日)、パティオス8番街集会所で幕張ベイタウン自治会連合会の総会が行われました。会議の内容は連合会広報委員会から別紙で住民のみなさんに報告がなされ

ると思います。以下に新役員をご紹介します

。平成12年度幕張ベイタウン自治会連合会役員

- 会長 内田康文(4番街)
- 副会長 米沢衆二(6番街)
- 副会長 永田大二(16番街)
- 会計 松本武士(3番街)
- 広報 田村伸彦(5番街)
- 書記 沼田明夫(1番街)
- 監事 下川正晴(5番街)

写真は向かって右から



昨年8月下旬より入居が始まったグランパティオス公園東の街は、通称「GPE」と呼ばれる公園西の街とセントラルパークに挟まれた落ち着いた色調の高層マンション番街です。緑が多く、バラの咲く中庭には東の街シンボルマークの巻き貝の形をしたベンチや池が庭園風に配置されています。建物や中庭は落ち着きがあって「渋い」という感じですが、そこに住む方々からは「ノリのよい」番街という印象を受けます。ここ半年間だけでも「X' mas party (170人が参加)」、「自治会立ち上げ準備会(数回)」、「マリンスタジアム観戦会」、「潮干狩り & パーベキューの野外活動」など沢山のイベントが東の街単独で開催されてきました。5月のベイトウンまつり2000では、東の街住人である樺田氏がベイトウンまつり実行委員長を務めたこともあり、つなひき大会には数チームを組めるほどの参加者が集まりました。しかし、まつり当日はあいにくの雨、朝からやる気満々で

準備体操をして勝負に臨みましたが、つなひきはジャンケン大会で順位を決めることに……。しかし、ウタスポではその時の不完全燃焼が大爆発！ お父さんたちは番街の名誉をかけて競技に参加し、青組応援席にはテント村を作って大応援団を繰り出しました。公園東の街にとってウタスポはまさに地域の運動会だったようです。このベイトウンいちのノリのよさで、8月には「東の街3番館4番館 Welcome party」が予定され、来年のベイトウンまつりでは“ねぶたまつり”をやる！という案が出されています。「こんな事がしたい」と話が出ると、即座に「いいですね、やりましょう！」と実現させてきた東の街一ネットで

連絡しあうお父さんたち(なんとインターネット上にはグランパティオス専用の掲示板もある)のノリの良さと、お母さんたちの口コミによる地道な活動で、“ベイトウンねぶたまつり”も、夢ではないかもしれません。

※グランパティオス掲示板(東の街・西の街共通)は「ベイトウンネット(<http://www.baytown-net.com/>)」にリンクされています。ぜひご覧ください。

【浜田】



コア輪郭現れる！

去る6月10日(土)、かるがも館でコア研拡大運営委員会が開催され、コミュニティコアの概要並びに図面と模型が開示されました。この建築案は計画デザイン会議ワークショップでの論議を経て正式決定されます。

外観デザインと同様、住民が最も関心を寄せる内部の施設を見ると、200人収容の音楽ホールを兼ねる講堂(生音重視のコンサートホール、音響設計はサントリーホールを担当した設計会社に依頼)、半分に仕切れる56人収容の会議室、茶室としても使える和室、講習室(アトリエ工房)、調理台4卓の調理室(そのまま中庭に出て食べることもできる)、住民が要望する面積をほぼ確保した子供ルーム、児童閲覧室付きの図書館分館、そして広々としたエントランスホールと建物の面積制限を補う為に工夫されたステージやテラスが機能的に配置され、設計者である高谷氏が限られた条件の中で良いものを作りだそうと苦心された跡が感じられます。コア研委員長として3年間相当なエネルギーをつぎ込んでこられた辛口の下川氏も、「ベイトウンを代表する素敵な施設になるでしょう！」とその素晴らしさを表現しています。

コアの建設予算は8億円、周辺整備を含めて10億円程度ですが、建築単価が40万/m²なので2,000m²が事実上の建築上限となります。その制約の中で高谷氏は1,985.49m²にぎりぎりだ訳ですから、いかに苦心の賜物であったかは理解できるかと思えます。

ベイトウンの基本計画では、沿道性をだすため建物の壁面をプロムナードぎりぎりに配置させ連続性を持たせることが計画デザイン会議で求められています。当日は計画デザイン会議のメンバーでもありコアの計画設計調整者である土田氏が壁面で

沿道性を出すよう求めるのに対し、コア設計者高谷氏は「沿道性を必ずしも壁で表現するのではなく、壁面が続いているので、エアポケットがあった方が良く、壁面ではなく柱を配することで沿道性を表現した」と設計の意図を述べる場面もあり、細部までベイトウンらしい建物の設計にこだわる設計者お二人の熱い思い入れを感じることができた会議でした。



11番街方向から見たコア、正面右が音楽ホール(講堂)、左奥1/4円の1階が子供ルーム、2階が図書館分館

コアの設備(イス、机、棚を含む)は企業庁、備品(ピアノや書籍他)は千葉市が受け持ちますが、音楽ホール(講堂)のイスにも「よくある折りたたみ式の安っぽいものでなく、良い物にしたい」と、建物本体だけでなく細部にまで高谷氏はこだわりを持っており、住民とすれば、我々の希望を実現してくれる設計者と大きな期待をもって最終設計を待っています。

私などは、不謹慎ながらウッドデッキにでも座り飲むビールが今から楽しみです(もっともこれは「公民館」では禁止行為ですが……)。待望のコミュニティコア完成は2002年春の予定です。

【金】

5月はじめに千葉県企業庁から「幕張新都心住宅地の事業について」(計画見直し)のお知らせが各住棟に掲示され、各戸に配布されました。また、過日企業庁からの説明会が(今日中社に通知不十分と指摘されつつ)行われました。この計画見直しは、ベイタウンの街開き以来はじめてに近いことであり、すでに5年間の生活の積み重ねと1万人近い居住者が存在する中で行われるものです。しかし、今回の見直しに当たり、そのような認識が希薄なのではないでしょうか？

まず、今回の計画見直しには、次の2点が欠けています。第1に、ベイタウン独自のコンセプトに対する5年目の評価と、そのさらなる向上への展望が見受けられません。例えば、現在まで景観形成については順調なものの、賑わいづくり(商店街)は期待するほどではありませんし、駐車計画(路上駐車帯)はやや混乱を引き起こしています。これらについての明確な対応方針を立てることなく(例えば、街全体の駐車対策を見通せないまま、断片的に駐車場を整備するなど)、土地利用の見直しが打ち出されています。

第2に、いままでに例のない実験的な街であるからこそ、実際に生活している居住者の声をよく聞いて、評価すべき点は伸ばし、問題点は改善すべきです。街路に面し中庭を囲む住棟の住み心地から、保育所不足に対する切望や、自転車利用者の不便の声は、この街の計画者たちにどこまで届いているのでしょうか？ 今回の見直しには、残念ながら本質を避けて土地利用の微調整に終始しているという印象を受けます。

一方、これを受け止める私たち居住者の側はどうでしょうか？

過日の説明会では、今回の計画見直しに対する疑問や不満が、出席した居住者から数多く出されました。それらはすべて理にかなった意見でしたが、初めての会合ということもあって個々別々に発言されていました。これから、私たち居住者同士が思うことを徹底的に出し合い、それをベイタウン居住者の一部ではなく多数の意向として集約することができれば、企業庁も無視しえなくなるのではないのでしょうか？ この街に住む私たちは、毎日の生活の中で多くのことを感じ、考えています。この街の抱える問題が解決に向かい、もっとすばらしい未来の夢が近づくように、みんなが願っていることでしょう。しかし、一人一人の力では、できることはわずかです。私たち全員が、一人でも多く、少しずつ前に出て、一緒に考えをまとめて働きかければ、きっと心の内に描く「私たちの街」が現実のものとなるでしょう。

6月11日に行われた幕張ベイタウン事業計画見直しの説明会(本誌3ページ記事参照)について、出席された住民の方から、上記のような投書をいただきました。切間際の投書であったため、掲載するかどうかが編集部内で議論しましたが、他の記事スペースをさいても今月号に載せるべきとの結論を得て掲載しました。この投書にはそれだけの力がありました。街開きから5年。住民主導で大規模なフォーラムが行われ、行政の説明会に対しても、これだけ建設的な意見が住民側から出る街になりました。「街作り論議」、これこそベイタウンニュースが創刊時から求めてきたもののひとつです。ベイタウンニュースはこの投書に対するみなさんのご意見をお待ちします。

ベイタウン WHO'S WHO 第6回 新城早人さん (3番街在住)

今回は、初めての自薦の方の登場です。新城さんは、現在は東京、横浜を中心に手話ダンスを中心とした活動を行っているそうですが、将来的には地元で活動したいと考えており、その時に活動に賛同して下さる方々と出会えたら、との思いから、自薦を思い立ったそうです。以下、ご本人の弁による紹介文です。

現在進めている活動は、手話ダンスです。それは一般に想像されるようなお遊戯的な手話ダンスから一步進めてステージの上で見せられる創造性豊かなものを目指しています。いわば「ストリート系手話ダンス」とでも申しましょうか。私は以前からヒップホップ等ストリート系ダンスのコンテストに出場したり、ダンスの活動はしていました。そこに、以前私がボランティア活動に参加していた社会福祉団体の手話通訳士とプロのコリオグラファー(編集局注:振付師)が組み、手話にジャズダンスやヒップホップダンス、ボーカルを組み合わせた手話ダンスを始めたこと聞き参加しました。手話は全く経験ありませんでしたが、始めてからは歌やダンスだけでなく手話にも大変興味を持

ち、地元の手話サークルにも参加するようになりました(手話の実力はまだまだ初心者ですが)。若い世代に人気のある R&B



系の曲に手話を付け16ビートのリズムに乗せながら踊っています。3月20日には、横浜文化振興財団主催の横浜アートLIVE2000でステージを行い、各方面から少なからず反響をいただきました。このステージには3人の聴覚障害者もダンサーとして参加しています。また、神奈川県、東京都の公共施設でのライブステージのリクエストも出てきました。この活動を始めて何よりも素晴らしいのは、ダンスを通じて手話に興味を持てたことです。

以上、私の活動を簡単に紹介しましたが、1・2年後には地元であるベイタウンや千葉で興味を持ってくれる方々と一緒に活動したいと考えています。ダンスの振り付けに興味のある人、ボーカルトレーニングのできる人、手話の得意な人、ミキサーで曲の編集ができる人、何も得意じゃないけどとにかく手話ダンスに興味のある人、こんな人々と一緒に楽しい活動をしたいと考えています。ダンスに留まらず、他の手話パフォーマンスもやりたいです。誰かの役に立ってやろうなどと大上段に構えなくとも、私自身がそうであったようにダンスを通じて手話が好きになったり、手話を通じてダンスが好きになる人が出てきてくれたら嬉しいと思っています。

連絡先: e-mail nescobbc@ca2.sonet.ne.jp

このコーナーでは、自薦他薦を問わず、ベイタウンの有名人、ユニークな経歴を持つ人、ベイタウンに密着した活動をしている人などを紹介しています。ぜひ掲載して欲しいという人がいたら、ニュース投書箱または編集部員まで。

第3回打瀬第2小学校（仮称）住民説明会

千葉市教育委員会主催による、平成13年4月開校予定の打瀬第2小学校（仮称）の3回目の住民説明会が、以下のとおり開催されます。小学校の開校のために3回も住民説明会が開かれることは異例とのことで、教育委員会の打瀬地区への思い入れの強さが伺われます。大勢で参加して、住民側の熱意も示しましょう！

- 日時：平成12年7月1日（土）午後1時30分～
- 場所：市立打瀬小学校 体育館
- 担当：千葉市教育委員会企画課・大久保 TEL(245)5908

あなたもモデルに！

ファッションショー『アジアの風 2000』モデル公募

千葉県企業庁より、アジアファッション界の新進デザイナーと世界で活躍するデザイナーの作品で構成されるファッションショーに出演するモデル公募のお知らせです。

- ★ ショー開催日：平成12年9月14日（木）
- ★ 開催場所：幕張メッセ ★ 募集人員：15名
- ★ 応募資格：千葉県内在住・勤務・在学の16歳以上、身長170cm以上の女性（現職モデルを除く）
- ★ 応募方法：往復はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、勤務先（学校名）を明記し郵送（返送先記入のこと）
- ★ 選考会開催日：平成12年8月6日（幕張テクノガーデン）
- ★ 応募期限：平成12年7月21日
- ★ 応募・問合せ：千葉市中央区長洲1-9-1 千葉県企業庁地域整備部幕張新都心整備課内アジアコレクション「幕張大賞」実行委員会・043-223-3624（担当：水澤）

WBGアトリウムコンサートのお知らせ

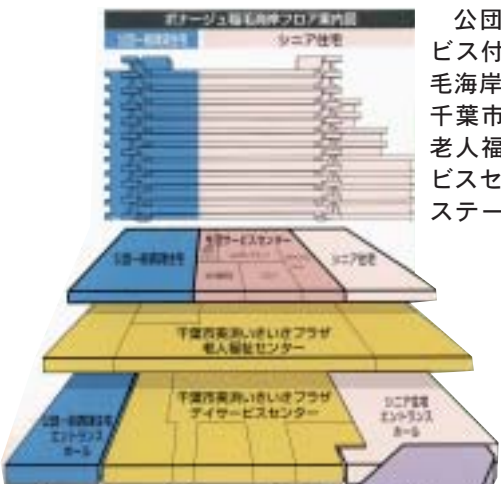
来る8月8日（火）、12:15より、WBGのアトリウムで開催されるコンサートに、ペイタウン在住のバイオリンとピアノのデュオ“Duo Arpege”のお二人（御木マドカさん、安藤歩さん）が出演します。街の音楽家の活躍を鑑賞してみてください。

いも掘り会のお知らせ（青少年育成委員会）

打瀬中学校のジャガイモが収穫の時期となりました。皆様ふるってご参加ください。

日時：平成12年7月2日（日）10:00～12:00（雨天決行）

長寿社会とコミュニティ



公団の高齢者向け生活サービス付き住宅「ボナーズ稲毛海岸」には、一般賃貸住宅、千葉市美浜いきいきプラザ（老人福祉センター、デイサービスセンター）、民間のヘルプステーションが併設されています。隣接する「高洲コミュニティセンター」には、ホール・料理実習室・講習室等があり、沢山のサークル活動で賑わっていて、美浜区民の交流の場所となっています。

都市公団千葉地域支社
ホームページ：
www.udc.go.jp/chiba

都市公団

賃貸住宅のお問い合わせは

総合募集センター津田沼案内所 TEL:047-478-3711

公団住宅の駐車場のお問い合わせは

日本総合住生活（株）千葉支店 TEL:043-277-7371

編・集・後・記

◆ペイタウンニュースの丸3年を振り返って見ると、周辺企業の協力で財政的に自立できた事が記事の独自性を保てた要因となりましたが、もっと周りにいい顔をしていれば、もう少し楽な3年間であつたろうとも感じます。街のコミュニティ誌を作る立場としては、より良い街づくりの為、苦言を呈していくのも役割の一つと考えてやって来ましたが、辛口の記事を書くには、それなりの気苦労も伴います。ここまで発行し続けることができたのは、ヘッドハンターも羨むペイタウンニュースのマンパワーの力です。それにしても継続させていくのは簡単ではありませんが、ペイタウンニュースの活動を理解され、変わらぬ支援を寄せてくれる方々の顔を思い浮かべると、もうしばらく気力を保ち続けねば！と思いました。

企画：#3-220 金一剛 (T:211-0388/ikkim@xa2.so-net.ne.jp)

◆今回取材したフォーラムではハード面での素晴らしさを再確認するとともにソフト面での住民力を実感。いっぽう、企業庁の事業計画変更の説明会では、こうした住民の意欲や知恵、パワーをまちづくりに生かそうという気のない企業庁の姿勢にやりきれないものを感じました。せっかくの画期的なペイタウン計画も、従来通りの行政と住民の関係（「住民は苦情ばかり言う存在」「お役所のやることは税金の無駄」…）を踏襲しては、キャッチフレーズばかりの中身の無いものになってしまいます。「建物も立派だけど、それよりもきょうは住民のコミュニティ意識を感じることができました」フォーラムのウォッチング企画に参加していた大学生の言葉です。

タウンスケッチ記者：#3-310 佐藤則子 (T&F:211-0090)

◆ペイタウンフォーラムの前日と、その数日後に小さい地震がありました。阪神大震災後、神戸市では住民にアンケートをし、その結果公園に雨水利用の貯水タンクを埋めました。ペイタウンも建物的には地震に強いと思いますが、停電すれば断水する事でしょう。貯水タンクが欲しいーとは言いませんが「飲料水は、各家庭でストックしておこう」とだけ言わせてください。

記者：# 公園東 浜田貴代子 (atmark@pop01.odn.ne.jp)

◆フォーラムの第一部を担当しました。ご協力いただいたみなさん、ご参加いただいたみなさん、この場を借りて感謝申し上げます。朝から晩までのイベントで、原稿は質量ともにとても2面のスペースでは足りないほど。泣く泣く削って、ご覧のようになりました。詳しい報告は改めて。今回の延長線で、ペイタウンで「文化祭を」との声も出ています。どうぞご期待ください。

記者：茂木俊輔 (T&F:211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp)

◆毎度メ切に追われながらの作業でしたが、今月号はとてもレイアウトをしていて充実感がありました。今月は「フォーラム特集号」と題して、記者全員でペイタウンフォーラムの総力取材を敢行したのですが、記事内容は書き手の気迫と、少ないスペースで伝えたいという苦労の跡がうかがえるものばかりでした。全員がこれほどの熱気をもって新聞づくりに取り組んだのはペイタウンニュース始まって以来でしょう。フォーラムのエネルギーを住民みなさんに感じていただきたい。そんなメッセージを付けてこの38号をお届けします。創刊3年を経て、ペイタウンニュース会心の一号です。

技術：#10-612 松村守康 (T&F:211-6853/m-matz@mxqmesh.ne.jp)

◆今月は、ペイタウンフォーラム、コア基本設計説明会、企業庁事業計画変更説明会、自治会連合会総会と、週末は大忙しでした。どの会合も住民にはオープンで、誌面では伝えきれない街に関する各種の情報や、色々な人の貴重な意見・おもしろい発言を聞くことができますので、こういった会合には積極的に参加することをお勧めします。

編集：#1-210 板東司 (T&F:211-0289/tbando@dp.u-netsurf.ne.jp)

きょういくベイトウン

森首相 打瀬中をご訪問

千葉市立打瀬中学校長

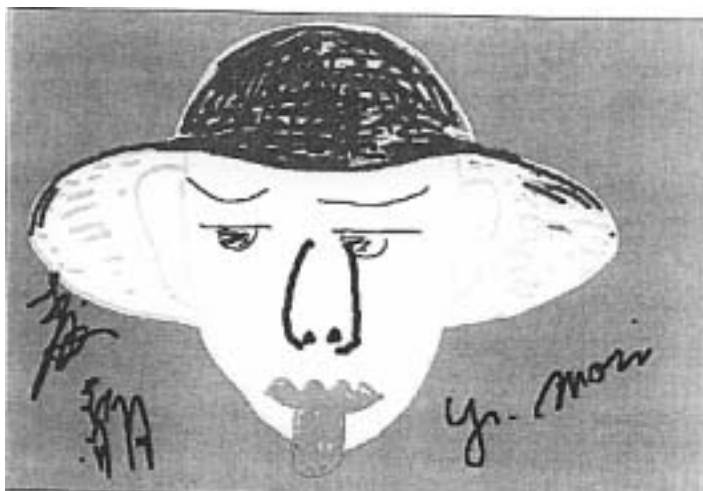
石原 通男

6月6日（火）に森首相が本校を訪問され、コンピュータを利用した授業を参観されました。

急なご訪問でしたので、大変びっくりいたしました。午後2時過ぎに到着、校庭で体操の授業をしていた女子生徒の歓迎の声に、急きょ生徒達のいる場所へ歩いて行かれ生徒達と握手、親しく話をされました。

校舎内で、学校概要についての説明の後、国語科ゾーンと社会科ゾーンを視察されました。社会科ゾーンでは、2年生が課題解決学習に取り組んでいるところでした。オープンワークスペースで、班ごとに学習中の生徒に「今、何を学習しているの?」と気軽に声をかけられ生徒達の学習の様子を覗かれました。

教科センター方式である教科ゾーンの学習環境のよさと生徒たちの意欲的な学習への取り組みの様子に頷いておられました。



森首相と生たちによる合作の"顔"



その後、多目的ホールで展開されているパソコンを利用した1年A組の美術の授業（授業者：渡部二好教諭）を参観されました。美術科でのパソコン利用の授業は、昨年度、本校が通産省の支援による「教育の情報化推進事業」の一環として学校現場での実践校として取り組んでいったものです。

これからの高度情報通信社会で必要とされる「情報編集力」の育成という視点から、個人の情報を自分のパソコン（未来のノート）から大型ディスプレイをもつコンピュータ（未来の黒板、52インチ）に無線ランで飛ばし、この大型ディスプレイの上で、友人同士の情報を編集するというのです。

森首相も、生徒と一緒にパソコン端末に鼻の形を描き、大型ディスプレイに送信する作業に挑戦されました。

それぞれ、眉や目、口、耳を描いた数名の生徒から送信された情報を大型ディスプレイの上で編集し、生徒たちとの合作の顔を描きあげました。そして、最後にサインを入れていただきました。

授業の終わりには、生徒達と記念写真を撮影し、午後3時にお帰りになされました。

AT(ADVENTURE TIME) 講座 2000

AT(ADVENTURE TIME) 講座 2000 が始まりました。昨年度スタートしましたA S 講座を全員参加型の活動として1部に手を加えたものです。5月31日に第1回目をを行い、6月28日には第2回目が行われました。この日は悪天候で講師の先生には大変ご苦勞をかけました。同じ講座を継続して希望してくる生徒がある一方で、今回新設した夏のベイトウン祭りに向けた「盆踊り」の講座が人気を呼んでいました。



アンサンブルを楽しみましょう

第1回 AT 講座

1. フラワーアレンジメント
2. 水彩画
3. 自分の手形を作ろう
4. コンピュータネットワーク
5. ソフトバレーボール
6. グラウンドゴルフ
7. 楽しいクッキング
8. カエルの解剖～音楽編～
9. 中国語講座
10. あなたは自分の性格を理解していますか
11. アンサンブルを楽しみましょう
12. ベイタウンニュースを作ろう
13. 海外で勉強すること、働くこと
14. 生け花
15. ストリートダンス

第2回 AT 講座

1. フラワーアレンジメント
2. 水彩画
3. 自分の手形を作ろう
4. メッセを探検する
5. ソフトバレーボール
6. 楽しいクッキング
7. あなたは自分の性格を理解していますか
8. アンサンブルを楽しみましょう
9. ベイタウンニュースを作ろう
10. 海外で勉強すること、働くこと
11. 生け花
12. ストリートダンス
13. 人と環境
14. 視野を世界に広げよう
15. 盆踊り
16. 幕張新都心とベイタウンを支える「ガス」について学ぼう



「メッセ探検」講座

@SPACE

テニス部（軟式）

6月18日（日） 千葉県中学生ソフトテニス強化練習会

会場：白子町共同テニスコート

2年生男子	戸ヶ崎・金城組	リーグ戦	
	小川・藤本組	1勝3敗	
	三松・木下組		
2年生女子	因幡・庄司組	リーグ戦	2勝1敗1分け
1年生男子	法月・早野組	リーグ戦	2勝2敗
1年生女子	三木さやか・三木あやか組	リーグ戦	4戦全勝

6月25日（日） 千葉県中学生ソフトテニス選手権大会

会場：千葉県総合運動場

寺根・藤本組	1回戦 3-2	富津中
	2回戦 2-3	茂原中
柴崎・松戸組	2回戦 0-3	小見川中
清輔・草野組	2回戦 3-0	若葉中
	3回戦 3-0	三山中
	4回戦 0-3	大栄中

この大会の結果を糧に夏の総体に向け、一人ひとりが最高のプレーができるように努力してきたいと思います。

陸上競技部

6月10～11日（土～日）

千葉県中学校陸上競技記録会千葉大会

会場：青葉の森スポーツプラザ

3年女子 100M	1位	高橋文美	13" 24
男子 1500M	2位	佐藤遼太	4' 30" 32
女子 100MH	2位	高橋文美	18" 85
女子 4×100MR	2位	天野裕季	53" 21
		武桃子	
		奥村真未	
		高橋文美	
女子 200M	3位	武桃子	27" 98
1年女子 100M	5位	田岡春菜	14" 06
2年女子 100M	8位	唐沢紀子	14" 01
女子 100MH	8位	奥村真未	18" 85

6月18日（日） 全日本中学校通信陸上競技千葉県大会

標準記録突破千葉市記録会

会場：青葉の森スポーツプラザ

男子 1500M	1位	佐藤遼太	4' 24" 62
3年女子 100M	2位	高橋文美	13" 28
女子 100MH	2位	高橋文美	15" 55
女子走高跳	3位	奥村真未	1M 35
女子 4×100MR	4位	天野裕季	53" 98
		武桃子	
		奥村真未	
		岩本めぐみ	
女子走幅跳		天野裕季	4M 40

毎週のように続いた大会も一段落。7月8・9日に行われる県大会に3種目6名が参加します。この大会でも Best 記録を目指して Fight !